



# お知らせ

Vol.5

令和最初の夏到来！整会会員の皆さまお元気でお過ごしですか。6年前の東京五輪決定がついこの間だと思っていたら、いつの間にか開催が来年に迫っています。本当に月日が経つのは早いですね。皆さん、東京五輪チケットは当選しましたか？私は家族を総動員して臨みましたが全滅でした！

さて今年も、整会ホームページに掲載された記事を中心に、これまでの活動報告や最新のイベント情報をお届けします。引き続き、整会活動に温かいご支援とご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

なお整会ホームページは『青学古美研』をキーワードにして検索すればすぐ見つかりますので、そちらも是非ご覧ください。  
整会事務局

## ■今年も同窓祭でお待ちします！！

9月23日(月・祝)

秋分の日恒例となった大学同窓祭に、今年も整会として講演会（会員・一般向け）と展示会（会員向け）の二つの企画で参加します。

### ＝講演会：古美研OB山下克明さん、テーマは陰陽道＝



山下克明氏

講演会講師は「陰陽道・安倍晴明」研究の第一人者である山下克明氏です。古美研(彫刻班)OBで1976年史学科卒業の山下氏に『陰陽道と日本の文化 一ここまでわかった陰陽道・安倍晴明一』と題して講演していただきます。詳しくはご案内チラシをご覧ください。

日時：9月23日(月・祝) 13時～14時30分

会場：青山キャンパス17号館 3階 17311教室

### ＝古美研部室の古い資料を整理、当日展示します＝

昨年古美研部室を訪問した際、約半世紀前の資料も含め大変貴重な書類・写真が多く保管されていることがわかりました。あまり整理されていない状態でしたので、同窓祭実行委員の皆さんを中心に分類作業をしたところ、次のような資料が残されていることを確認しました。

- ①総会議事録、②青山祭関係資料(模型を含む)、③夏合宿関係資料、④班別研究資料、⑤秋桜(部員間連絡帳)、⑥部員の自己紹介他己紹介文集、⑦スナップ写真多数(1965～2000年代)など
- 同窓祭当日、これらを年代別に整理して展示し皆さんにご覧いただくとともに、一部年代不明の資料の調査も含め更なる整理をし、引き続き部室に保管したいと考えています。

懐かしい資料・写真を是非見に来ませんか！（講演会と同会場にて11時～16時）



## ■整会 総会及び懇親会を開催します。

9月23日(月・祝)

同窓祭当日、整会会則に基づき総会を開催します。

場所は同窓祭整会会場(17号館17311教室)で、講演会終了後14時30分に開会します。議題：①事業報告・決算報告、②会則一部変更、③役員改選 他  
また、夕刻懇親会を宮益坂にあるイタリアンレストラン『タパス&タパス 青山店』で開催します。詳しくはご案内書面をご覧ください。

別途、出欠連絡用ハガキをお送りしますので、出席可否をお知らせください。



2017年9月の総会風景



# 古美術を語ろう会

## ■ 11月17日(日) 写経体験と東京都庭園美術館

参加者募集!

今回のテーマは「心が豊かになる一日」。

薬師寺東京別院で世の平安を祈り写経(般若心経一卷)を体験、昼食後白金の地にある東京都庭園美術館(旧朝香宮邸)を訪れます。アールデコ様式の建築(昭和初期)やアールヌーボー、ラリック(注)の装飾調度品の鑑賞でご堪能ください。(注)フランスの宝飾デザイナー・ガラス工芸家(19世紀後半～20世紀前半)

期日：11月17日(日) 集合：10時【JR五反田駅東口改札前】

コース：五反田駅→薬師寺別院→昼食→東京都庭園美術館→目黒駅

(解散はJR目黒駅15:30頃、すべて徒歩移動)

費用：写経・奉納料2,000円、庭園美術館1,000円程度  
(展覧会内容により異なる)

※浄書された写経は、本山の堂塔経蔵に祀られます。

※写経を希望されない方は、昼食からの参加が可能です。

※交通費・飲食代等は各自負担。

※詳しくは8月中旬に整会ホームページでご案内します。

※参加申込みは飯田まで(携帯090-9102-6471)



写経体験  
(薬師寺東京別院)



東京都庭園美術館

## ■ 今年度開催した“語ろう会”の実施報告です。

### ● 「コンドルを追え！」(ジョサイア・コンドルの建造物を訪ねて)



旧岩崎邸  
(岩崎財閥3代目岩崎久弥邸)

爽やかな秋晴れとなった昨年10月20日(土)「コンドルを追え！」と題してジョサイア・コンドルの建造物を訪ねる散策会を実施しました。御茶ノ水駅からスタートしてニコライ堂、旧岩崎邸、旧古河邸を見学、いつもながら大変楽しいひと時を過ごしました。途中湯島聖堂や神田明神、湯島天神、上野公園にも寄り道し、コンドルとは直接関係のない浮世絵や銭形平次?の話題でも大いに盛り上がり、参加者の博識に驚くばかりでした。参加者16名。

<参加者Aさん>秋の散歩日和に新たな発見満載、16,000歩の楽しい1日でした。甘酒、お団子…美味でした。

### ● 「忠臣蔵都内史跡ツアー」(松の廊下跡と赤穂浪士の足跡を訪ねて)

2月3日(日)は快晴無風で気温も4月並み、絶好の散策日和でした。

今回は古美術からちょっと離れて、江戸元禄年間に起きた「元禄赤穂事件～忠臣蔵」の舞台を、赤穂浪士による吉良邸討入りの時節に合わせて実施、できる限り史実に沿って浅野内匠頭や大石内蔵助ら四十七士の足跡をたどりました。

江戸城松之廊下跡からスタートし、吉良邸跡や討入り後に四十七士が泉岳寺に向かった道に沿って、四十七士の休憩場所(永代橋袂・乳熊屋跡)や旧浅野家上屋敷跡などを訪ねました。途中、内匠頭が切腹した田村家屋敷跡地(新橋)にある和菓子屋・新生堂の「切腹最中」を、日曜閉店にもかかわらず賞味できるサプライズもあり、泉岳寺までの徒歩通算距離約12kmの長い道のりを一人の脱落者もなく無事に歩きとおしました。参加者20名。



吉良上野介屋敷跡



切腹最中

### ● 「武蔵野の自然と古刹平林寺・正福寺」



平林寺山門

一昨年の秋に予定したものの荒天で延期となった平林寺・正福寺訪問の企画が、初夏の日差しが清々しい5月19日(日)に実現しました。参加者は女性8名、男性5名の13名。武蔵野線新座駅集合時の自己紹介で5名の女性が福岡県出身と判明、いきなりの和気あいあいのスタート。

野火止用水脇の野菜無人販売所に立寄り、平林寺の青もみじの世界に浸り、新緑の武蔵野台地のウォーキングを楽しみました。野火止用水の歴史、それを開墾させた知恵伊豆こと川越藩主・松平信綱の大きな功績、国宝建築正福寺地蔵堂の素晴らしさなども知ることが出来、整会らしい知的な歴史散歩となりました。歩行距離は約7kmで心地良い疲労感でした。



## ■ 現役からの古美研活動報告です。



太田記念美術館(東京原宿)にて

今年古美研は54年目を迎えました。時代や環境こそ違え、私たちの後輩もまた同好の仲間たちとともに充実した“古美研ライフ”を過ごしているようです。

古美研総務部長の大岩史織さん(3年)から、現役活動報告を寄稿していただきましたので、ご紹介します。

この報告が贅会の皆さんに届くころには梅雨が明け、暑い夏に向かっている季節だと思います。我々大学生にとって、7月の季語は「期末試験」です。けれども実際、試験期間の大学生は皆、常より明るい顔をしています。

試験が一つ終わるたび着実に夏休みに近づいていく実感が、心を浮き立たせるのでしょうか。私自身、勉強の息抜きと称して旅行計画の立案に勤しみ、夢中になってしまうこともしばしば。今年は東北への「一人旅」に挑戦したいです！

さて、古美研部員にとって、メインイベントは夏合宿です。例年通り行き先は京都。3泊4日の日程で神社仏閣やミュージアムを巡ります。今年度から、コースの立案に関する新たな取り組みを始めます。

部員の中には所謂「京都通」が複数おります。彼らに、我々役員が知らない新たな京都珍スポットを紹介してもらい、「こびけんオリジナルコース」を作ります。皆のアイデアを生かしこれまでにない充実した時を過ごすことが出来れば、と思います。先日、贅会役員の皆様より、最新の旅行雑誌を複数寄贈して頂きました。部室にて合宿計画に大いに活用させていただいております。京都や周辺府県の一押しスポットがある方はぜひとも、我々現役部員にご教授ください。

夏合宿は、11月1～3日に開催予定の青山祭での展示作品のテーマ決定の場でもあります。今年も絵画班・彫刻班・庭園班の三班に分かれ作品制作を行い、新作数点を展示予定です。一年間の活動の集大成として、作品に真剣に向き合い、来場者の皆様楽しんでいただける展示作りを目指してまいります。部員一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

贅会の皆様におかれましては日頃より我々青山学院大学古美術研究会の活動に温かいご支援、ご協力を頂き、ありがとうございます。贅会の会員名簿を拝見する度、歴史ある部活の一員として活動できることを誇りに思います。54年目の古美術研究会を盛り上げるべく尽力して参ります。今後ともよろしく願いいたします。

古美研役員との意見交換会(1月18日)



## ■ 12月5日建築班OB・OG会が開催されました。



昨年6月の彫刻班OB会に続いて12月に建築班のOB会が初開催されました。初代から、班が存続したと思われる1999年卒までのOB・OGのうち、住所が分かる約70名に案内はがきを送付しました。当日はそのうち15名が出席、学生時代の古美研や建築班の思い出話に和やかに花を咲かせました。一番盛り上がったのは、やはり青山祭での模型作りの話、それぞれの代での苦労話が披露されました。これからも継続して開催することを約束してお開きとなりました。

## ■ 柏田道夫さんと河崎早春さんの対談・朗読会が開かれました。

3月30日(土)、贅会会員で「武士の家計簿」等の脚本で著名な柏田道夫さん(77年卒工芸班)と、同氏とは日本文学科同級生で朗読家・俳優の河崎早春(かわさきさはる)さんとの対談及び柏田さん作品の朗読会が、校友会大学部会の主催で青山キャンパスで行われました。

イニシャルが同じKのため入学時に教室で隣の席になり、それ以来の友人というお二人が『ネタの探し方～図書館の使い倒し方まで』というテーマで、軽妙な掛け合いを展開し、会場内和やかな雰囲気のうち、あっという間に終了時間となりました。

当日会場は大学の三木学長をはじめとする約100名の聴講者で埋まり、贅会からも14名の会員が参加しました。



終了後、贅会会員と記念撮影

## ■ 喫茶店『砂丘』のマスター大坪さんと桑田佳祐



大坪清隆さん

45年ほど前になりますが、当時、古美研のたまり場は『砂丘』という喫茶店でした。それ以前のたまり場『エンジェル』閉店後、同じ場所に1973年頃に開店しました。マスターは元プロレスラーの大坪清隆さん(1927年生)。鳥取県出身で将棋の腕はプロ級(そのためリング名は大坪飛車角)、お店にはプロレス関係者や棋士の方がフラッと顔を出す、そんなお店で古美研も四六時中誰かが入り浸っていて、大坪さんには大変お世話になりましたが、不幸にも1982年夏、海水浴で溺れた子供を救助救出した後に、ご自身が帰らぬ人となってしまいました。

大坪さんの思い出は2015年10月発行「贅50周年特別記念号」の山口晃さんの投稿に詳しく書かれています。この『砂丘』にはもう一つ、サザンオールスターズの桑田佳祐との縁があります。

以下は、OBのSさんから贅会ホームページに3年ほど前にいただいた投稿の一部です。

青学近くの『砂丘』は、みんなのたまり場でした。その『砂丘』の名前が、ネットをググると、桑田佳祐の「栄光の男」の曲についてのラジオのコメントに出てきます。(現在は削除されています。)

「長嶋さんが引退するところを私、1974年の10月にね、あの一青山学院のすぐ近くのね、あの一僕大学1年だったんだけど、青学の、砂丘っていう喫茶店があって、そこで見てたんですよ。したらなんかもう、予定と違って人生、あの大学1年に入った時、モテると思ってたらモテなくてさあ、んでもうちょっとフテくさってたら、長嶋さんのそのセレモニーがあったわけ引退の、1974年。もう40年前か、んで、なんかハラハラ涙出てきちゃってさあ、なんかこうたまってるものっていうのかなんか、まあいろんな意味で、そんなことあった。」

また、彼のサークルが、楽器を『砂丘』に置いていたことがツイッターにありました。そういった状況があって、「『砂丘』でテレビを見て泣いていた桑田佳祐」が理解できました。

あの頃、一介の学生だった桑田佳祐が、今や日本を代表するアーティストになっていることを大坪さんが知ったら、ただでさえギョロっとした大きな目を更に広げてビックリしたことでしょ。



『砂丘』の前で(左が大坪さん)

## ■ 1968~72年卒のOB・OG京都奈良旅行 実施報告



昨年に続き今年も5月12日(日)~14日(火)に京都奈良合宿を18名参加で開催しました。

初日は京都、滋賀、奈良2コースの4グループに分かれて散策、二日目は貸切バスで全員一緒に山の辺の道、桜井、飛鳥の8社寺と2か所の遺跡を巡り、その後の懇親会は奈良市内の数寄屋風佇まいの懐石料理店「利光(りこう)」で美味しい料理とお酒を満喫、お店の心温まるおもてなしもあり全員大満足でした。

ビール、ワインなどに加え奈良の銘酒・貴仙寿一升2本と久保田万寿四合1本をも飲み干し、締めくくりに学生時代とカレッジソングを声高らかに唄いお開きとなりました。その後ホテルでは二次会も開催され再度大盛り上がりでした。最終日は桂離宮、仙洞御所、京都迎賓館などをグループや個人で散策し、夕方無事帰路に就きました。旅行最中に、来年春の意外な旅行案が急浮上、楽しみな目標ができ結構！結構！

## ■ 寄付のお願い

贅会は皆さまの会費と寄付金で運営しております。できる限り経費節減に努めておりますが、現在の資金はあまり潤沢ではありません。皆さまからのご寄付大歓迎です。一口千円、何口でも結構です。振込先は次のとおりで随時受付けています。皆さまのご厚志をお待ち申し上げます。

ゆうちょ銀行

(口座記号番号) 00100-7-634149  
(口座名義)「贅会」(インダタミカイ)

ゆうちょ銀行以外からの振込み

(銀行名・口座) ゆうちょ銀行019店  
当座0634149  
(口座名義)「贅会」(インダタミカイ)

<会員の連絡先調査と個人情報の取り扱いについて>

事務局ではお一人でも多くの古美研OB・OGの方々の連絡先調査を行っております。皆様のご協力をいただきたくよろしくお願いいたします。なお、皆様からお預かりした個人情報は贅会及び古美研活動にのみ利用し、それ以外には一切利用しません。(個人情報管理責任者=会長、個人情報管理者=総務担当副会長)

■発行日:2019年7月21日 ■発行責任者:長谷川和芳(74年卒) ■広報担当副会長:亀村 通(78年卒)  
■連絡先:<Eメール> ishيداتamikai@gmail.com <携帯電話> 亀村080-9556-7145 長谷川070-3824-2800  
■ホームページ:http://ishيداتamikai.jimdo.com/ ホームページの「お問い合わせ」ページからもコンタクトできます。